

《基本概念》

# 経済活性化のための研究開発プロジェクト

平成19年度概算要求額 84,672百万円  
(平成18年度予算額 39,215百万円)  
(運営費交付金中の推計額を含む)

- ◎明確な研究開発成果の目標を設定 → ○次代を先導するブレークスルーをもたらす  
○新たな市場創出と高い経済活性化効果
- ◎社会・経済での活用に関する具体的ビジョン → ○プロジェクト着手段階から社会・経済での活用の将来像を  
描きつつ、実用化まで一貫して推進
- ◎大学等と産業界のポテンシャルを最大限活用 → ○知の創生の拠点である大学、独立行政法人等と企業が一体的にP  
ロジェクトを推進し、両者のポテンシャルを最大限に活用

## リーディングプロジェクト(LP)の推進

- 基礎研究からシームレスな医療応用(橋渡し研究の支援、人材養成)のつなぎの役割を果たす「橋渡し研究支援拠点形成プログラム」
- 誰もがいつでもどこでも安全かつ安心して情報のやりとりができる「安全なユビキタス社会を支える基盤技術の研究開発プロジェクト」
- 廃棄物等の再資源化技術開発とその普及・実用化のための社会システム設計を行う「一般・産業廃棄物・バイオマスの複合処理・再資源化プロジェクト」
- 電子顕微鏡の要素技術開発を行う「ナノ計測・加工技術の実用化開発」
- 次世代半導体製造の技術基盤を構築する「極端紫外(EUV)光源開発等の先進半導体製造技術の実用化」 等

## キーテクノロジー研究開発の推進

- 数のタンパク質解析から機能的に有用なタンパク質の構造解析までを目指す「ターゲットタンパク研究プログラム」
- 大量情報処理時代のニーズに対応する高性能なPCを実現する基盤技術の研究開発を行う「高機能・超低消費電力コンピュータのためのデバイス・システム基盤技術の研究開発」 等

## 世界最高性能の研究設備の整備

- 高性能汎用計算機システム研究開発(最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用)
- X線自由電子レーザー装置の利用開発

## 宇宙・航空分野の利用・産業化の推進